










答申内容を検討するにあたって考慮すべき事項（案）

No.	考慮する事項	考慮する内容	概要	動向等	審議会での主な意見																						
1	特別職の職責と活動の状況	<p>①令和元年と比較して特別職の職責の重さや困難性の大きさはどうか。 （業務は高度化・複雑化しているか。）</p> <p>②職責に対する職務遂行の状況はどうか。 （業務量や活動時間は増加しているか。）</p>	<p>議員活動の状況 資料 8</p> <table border="1"> <tr> <td>開催日数</td> <td>H 3 0</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>本会議</td> <td>2 6 日</td> <td>2 5 日</td> </tr> <tr> <td>委員会</td> <td>6 1 日</td> <td>5 0 日</td> </tr> <tr> <td>協議等</td> <td>3 0 日</td> <td>4 3 日</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1 1 7 日</td> <td>1 1 8 日</td> </tr> <tr> <td>平均出席日数</td> <td>6 4 日/人</td> <td>6 3 日/人</td> </tr> </table> <p>※H 3 0の数値はR 1 審議会資料 15 参照</p> <p>議員 1 人あたり人口 資料 17</p> <table border="1"> <tr> <td>R 1</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>3, 0 8 5 人</td> <td>2, 8 5 0 人</td> </tr> </table> <p>※R 1の数値はR 1 審議会資料 6-3 参照</p>	開催日数	H 3 0	R 5	本会議	2 6 日	2 5 日	委員会	6 1 日	5 0 日	協議等	3 0 日	4 3 日	計	1 1 7 日	1 1 8 日	平均出席日数	6 4 日/人	6 3 日/人	R 1	R 5	3, 0 8 5 人	2, 8 5 0 人	 	<p>《引き上げ》</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員や市長には、さらに天草を売り込んで発信をお願いしたい。そのためには給料を上げる必要がある。 ・未来志向に市長や議員など今後の活動をさらに尽力してもらい、今後の行政や政治に若者がもっと意欲的な参入を促す意味でも引き上げることが望ましい。 <p>【市長、副市長及び教育長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長、副市長及び教育長は、休暇も多くはなく休日も仕事をしている方であるため、上げるべきでは。 ・市長は、いろんな施策を打ち出して一生懸命取り組んでいると評価している。IT・デジタル関係の企業誘致や天草未来創造スクールを立ち上げ若手事業家や次世代を担う人材育成を図りビジネス事業に対する意欲向上に繋げている。福祉政策、子育て支援政策、高校生までの医療費無償化など独自の施策をやられており非常に頑張っているため、引き上げを検討してはどうか。 <p>《据え置き》</p> <p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員が実際にどのような活動をしているか不明であるため、市民にみえるように努力してもらいたい。二元代表制であるため、将来の天草のために政策提言することで議員の仕事が市民にもみえてくる。現状やこれまでの実績から考えると議員報酬を引き上げるのはどうか。 ・令和5年の出席日数から月あたりの出席日数を算出すると議員報酬月額は低いと感じない。 ・議員はボランティア的な政治という在り方としたときは、議員報酬を上げるべきかどうかは疑問に思う部分がある。 ・10年先、20年先の天草市の成長に向けてどのように取り組むのか慎重に見守ったうえで報酬を引き上げることを考えたい。議員の良い意見により天草市民レベルで納得できる状況になった場合に引き上げるべきでは。 ・生活できる議員報酬にすべきとの意見があるが納得できない。議員を目指す中で議員報酬が目当てではないはず。据え置きが妥当である。
開催日数	H 3 0	R 5																									
本会議	2 6 日	2 5 日																									
委員会	6 1 日	5 0 日																									
協議等	3 0 日	4 3 日																									
計	1 1 7 日	1 1 8 日																									
平均出席日数	6 4 日/人	6 3 日/人																									
R 1	R 5																										
3, 0 8 5 人	2, 8 5 0 人																										

No.	考慮する事項	考慮する内容	概要	動向等	審議会での主な意見																														
2	社会経済状況	<p>①令和元年度と比較して天草市の経済状況の動向はどうか。</p> <p>②人口1人あたりの市民所得の状況は向上しているか。</p> <p>③市民レベルで景気向上の実感は得られているか。</p> <p>(物価高騰、消費者物価指数、最低賃金の動向など)</p>	<p>市町村内総生産額 資料10</p> <table border="1"> <tr> <td>R 1</td> <td>R 3</td> </tr> <tr> <td>2,216 億円</td> <td>2,067 億円</td> </tr> </table>	R 1	R 3	2,216 億円	2,067 億円																												
			R 1	R 3																															
			2,216 億円	2,067 億円																															
			<p>1人あたり市町村民所得 資料11</p> <table border="1"> <tr> <td>R 1</td> <td>R 3</td> </tr> <tr> <td>2,203 千円</td> <td>2,236 千円</td> </tr> </table>	R 1	R 3	2,203 千円	2,236 千円		<p>《据え置き》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬について、総所得の推移から市民の生活に対する豊かさの向上感を考慮すると市民感情として理解を得られるか。 																										
			R 1	R 3																															
2,203 千円	2,236 千円																																		
<p>納税義務者1人あたり総所得 資料22</p> <table border="1"> <tr> <td>R 1</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>2,180 千円</td> <td>2,368 千円</td> </tr> </table>	R 1	R 5	2,180 千円	2,368 千円		<p>《据え置き》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納税義務者の所得は上がっているが、値上がりにより生活に余裕ができたかといえ別問題である。 																													
R 1	R 5																																		
2,180 千円	2,368 千円																																		
<p>最低賃金(熊本県) 資料12</p> <table border="1"> <tr> <td>R 1</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>790 円</td> <td>952 円</td> </tr> </table>	R 1	R 6	790 円	952 円		<p>《引き上げ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金も上がっており、企業も苦勞して上げてきているため、特別職の報酬等も上げていく必要がある。 ・最低賃金も10月から上がる中で、早めに引き上げるべき。 																													
R 1	R 6																																		
790 円	952 円																																		
<p>消費者物価指数(熊本市) 資料12</p> <table border="1"> <tr> <td>R 2 (基準)</td> <td>R 5</td> </tr> <tr> <td>100.0</td> <td>105.1</td> </tr> </table>	R 2 (基準)	R 5	100.0	105.1		<p>《引き上げ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年前から物価は上昇し、国も物価上昇に伴う以上に賃金引き上げを図り、経済を好循環に向かうよう動き始めている。物価が上昇している中で据え置くことは実質的な賃金の目減りになってくる。消費者物価指数を鑑みて引き上げることで理解いただけないか。 ・社会情勢から特別職の報酬等の考え方についても引き上げの流れにあると捉えるべき。 <p>《据え置き》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇の中で一般市民の懐はさらに厳しくなっていくばかりである。 																													
R 2 (基準)	R 5																																		
100.0	105.1																																		
3	市の財政状況	<p>①令和元年と比較して現在の本市の財政状況及び将来的な財政状況の見込みはどうか。</p> <p>②市民感覚で、財政的な余裕又は困窮の状況をどう判断するか。</p>	<p>天草市の普通会計決算額 資料13</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R 1</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入総額 (百万円)</td> <td>60,704</td> <td>61,157</td> </tr> <tr> <td>うち市税 (百万円)</td> <td>7,627</td> <td>7,779</td> </tr> <tr> <td>歳出総額 (百万円)</td> <td>59,079</td> <td>58,853</td> </tr> <tr> <td>うち人件費 (百万円)</td> <td>7,859</td> <td>6,801</td> </tr> <tr> <td>財政調整基金現在高 (百万円)</td> <td>8,900</td> <td>12,753</td> </tr> <tr> <td>財政力指数</td> <td>0.27</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率 (%)</td> <td>95.0</td> <td>91.7</td> </tr> <tr> <td>実質公債費比率 (%)</td> <td>9.2</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>将来負担比率 (%)</td> <td>25.3</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R 1	R 5	歳入総額 (百万円)	60,704	61,157	うち市税 (百万円)	7,627	7,779	歳出総額 (百万円)	59,079	58,853	うち人件費 (百万円)	7,859	6,801	財政調整基金現在高 (百万円)	8,900	12,753	財政力指数	0.27	0.28	経常収支比率 (%)	95.0	91.7	実質公債費比率 (%)	9.2	9.5	将来負担比率 (%)	25.3	-		<p>《据え置き》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草市職員の削減により人件費を減少させたり、出張所業務を郵便局に委託し縮小している中に議員報酬を上げることはどうか。 ・県下14市の中で財政力指数は下位から2番目、実質公債費も下位から5番目。この低い財政力で議員報酬を上げるのか。
区分	R 1	R 5																																	
歳入総額 (百万円)	60,704	61,157																																	
うち市税 (百万円)	7,627	7,779																																	
歳出総額 (百万円)	59,079	58,853																																	
うち人件費 (百万円)	7,859	6,801																																	
財政調整基金現在高 (百万円)	8,900	12,753																																	
財政力指数	0.27	0.28																																	
経常収支比率 (%)	95.0	91.7																																	
実質公債費比率 (%)	9.2	9.5																																	
将来負担比率 (%)	25.3	-																																	

No.	考慮する事項	考慮する内容	概要	動向等	審議会での主な意見																												
4	一般職員の給料の状況	<p>①令和元年以降の一般職の公務員の給料の増減の動向はどうか。</p> <p>②一般職の公務員の給料と比較して特別職の報酬等は適正な金額か。</p>	<p>人事院勧告及び天草市一般職の給料の状況 資料 14</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R 1</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人事院の勧告率</td> <td>0.09%</td> <td>2.76%</td> </tr> <tr> <td>高卒初任の給料月額</td> <td>150,600円</td> <td>188,000円 (予定)</td> </tr> <tr> <td>大卒初任の給料月額</td> <td>182,200円</td> <td>220,000円 (予定)</td> </tr> <tr> <td>40歳標準職員(係員)の給料月額</td> <td>339,200円</td> <td>345,700円 (予定)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R 1	R 6	人事院の勧告率	0.09%	2.76%	高卒初任の給料月額	150,600円	188,000円 (予定)	大卒初任の給料月額	182,200円	220,000円 (予定)	40歳標準職員(係員)の給料月額	339,200円	345,700円 (予定)		<p>《引き上げ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の給料だけを上げるわけにはいかない。市長の給料や議員報酬を上げ、さらに天草全体の企業の給料が上がることで天草の商店街も潤うのではないか。 令和6年度の人事院勧告率は2.76%で、30年ぶりとなる高水準でベースアップとなっている。 天草市職員の40歳標準職員は令和5年度対比で1.3%引き上げることになる。 <p>《据え置き》</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の給料が上がったから特別職も上げるといことはどうなのか。別に考えるべきでは。 													
項目	R 1	R 6																															
人事院の勧告率	0.09%	2.76%																															
高卒初任の給料月額	150,600円	188,000円 (予定)																															
大卒初任の給料月額	182,200円	220,000円 (予定)																															
40歳標準職員(係員)の給料月額	339,200円	345,700円 (予定)																															
5	本市と熊本県内他市及び類似団体との報酬等水準の比較	<p>本市の財政状況及び本市における経済状況を勘案した上で、本市の報酬等は適正な金額か。</p> <p>①県下14市との比較</p> <p>②類似団体との比較</p>	<p>【県下14市】 資料 17</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職</th> <th>現行</th> <th>平均</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市長</td> <td>870,000</td> <td>839,545</td> <td>30,455</td> </tr> <tr> <td>副市長</td> <td>665,000</td> <td>644,545</td> <td>20,455</td> </tr> <tr> <td>教育長</td> <td>605,000</td> <td>569,500</td> <td>35,500</td> </tr> <tr> <td>議員</td> <td>348,000</td> <td>348,355</td> <td>△355</td> </tr> <tr> <td>議長</td> <td>407,000</td> <td>408,473</td> <td>△1,473</td> </tr> <tr> <td>副議長</td> <td>366,000</td> <td>369,982</td> <td>△3,982</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平均は、熊本市を除く13市のうち最上位と最下位の市を除いて算出したもの。</p>	職	現行	平均	差額	市長	870,000	839,545	30,455	副市長	665,000	644,545	20,455	教育長	605,000	569,500	35,500	議員	348,000	348,355	△355	議長	407,000	408,473	△1,473	副議長	366,000	369,982	△3,982		<p>《据え置き》</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別職の報酬等を県内で上げている市は少ない状況であり、市民の豊かさも変わっていない。 <p>【市長、副市長及び教育長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本市は令和6年度に3000円引き上げているが、平成18年度の金額に戻っただけである。 熊本市と八代市以外は市長の給料は上がっていない。 <p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上天草市議会では、議員定数16を14に削減し議員報酬を3万円引き上げる改革案を提出したが、特別職報酬等審議会において据え置きが適当であると答申した。理由は人口減少の加速に伴い、上天草市の経済状況の停滞感に否めない、引き上げに対して市民の理解を得るのは難しいとの指摘であった。天草市も同じような状況であり、引き上げることに市民の理解を得るのは難しいのでは。 県下14市で比較した場合、議員報酬は7番目で平均と同程度であり均衡が保たれている。
職	現行	平均	差額																														
市長	870,000	839,545	30,455																														
副市長	665,000	644,545	20,455																														
教育長	605,000	569,500	35,500																														
議員	348,000	348,355	△355																														
議長	407,000	408,473	△1,473																														
副議長	366,000	369,982	△3,982																														

No.	考慮する事項	考慮する内容	概要	動向等	審議会での主な意見																												
5	本市と熊本県内他市及び類似団体との報酬等水準の比較	本市の財政状況及び本市における経済状況を勘案した上で、本市の報酬等は適正な金額か。 ①県下14市との比較 ②類似団体との比較	<p>【類似団体（面積が近い団体11市）】 資料18</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職</th> <th>現行</th> <th>平均</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市長</td> <td>870,000</td> <td>884,978</td> <td>△14,978</td> </tr> <tr> <td>副市長</td> <td>665,000</td> <td>710,300</td> <td>△45,300</td> </tr> <tr> <td>教育長</td> <td>605,000</td> <td>626,611</td> <td>△21,611</td> </tr> <tr> <td>議員</td> <td>348,000</td> <td>374,111</td> <td>△26,111</td> </tr> <tr> <td>議長</td> <td>407,000</td> <td>455,778</td> <td>△48,778</td> </tr> <tr> <td>副議長</td> <td>366,000</td> <td>397,556</td> <td>△31,556</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平均は、最上位と最下位の市を除いて算出したもの。</p>	職	現行	平均	差額	市長	870,000	884,978	△14,978	副市長	665,000	710,300	△45,300	教育長	605,000	626,611	△21,611	議員	348,000	374,111	△26,111	議長	407,000	455,778	△48,778	副議長	366,000	397,556	△31,556		
			職	現行	平均	差額																											
市長	870,000	884,978	△14,978																														
副市長	665,000	710,300	△45,300																														
教育長	605,000	626,611	△21,611																														
議員	348,000	374,111	△26,111																														
議長	407,000	455,778	△48,778																														
副議長	366,000	397,556	△31,556																														
			<p>【類似団体（財政規模が近い団体8市）】 資料19</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職</th> <th>現行</th> <th>平均</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市長</td> <td>870,000</td> <td>926,167</td> <td>△56,167</td> </tr> <tr> <td>副市長</td> <td>665,000</td> <td>749,167</td> <td>△84,167</td> </tr> <tr> <td>教育長</td> <td>605,000</td> <td>646,000</td> <td>△41,000</td> </tr> <tr> <td>議員</td> <td>348,000</td> <td>390,333</td> <td>△42,333</td> </tr> <tr> <td>議長</td> <td>407,000</td> <td>476,000</td> <td>△69,000</td> </tr> <tr> <td>副議長</td> <td>366,000</td> <td>415,833</td> <td>△49,833</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平均は、最上位と最下位の市を除いて算出したもの。</p>	職	現行	平均	差額	市長	870,000	926,167	△56,167	副市長	665,000	749,167	△84,167	教育長	605,000	646,000	△41,000	議員	348,000	390,333	△42,333	議長	407,000	476,000	△69,000	副議長	366,000	415,833	△49,833		
職	現行	平均	差額																														
市長	870,000	926,167	△56,167																														
副市長	665,000	749,167	△84,167																														
教育長	605,000	646,000	△41,000																														
議員	348,000	390,333	△42,333																														
議長	407,000	476,000	△69,000																														
副議長	366,000	415,833	△49,833																														

No.	考慮する事項	考慮する内容	概要	動向等	審議会での主な意見
6	その他	上記以外の特記事項 議員定数、審議会の開催頻度、方針全般など			<p>【議員定数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬が低いのであれば、議員定数を削減すべき。現状の議員定数のままであるのなら議員報酬も据え置くべきでは。 <p>【審議会の開催頻度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢が変化していく時代に突入したため、本審議会は2年に1回の頻度で開催するなど臨機応変に対応していくことが必要では。 ・今回、据え置くとの答申を出すのであれば次回の本審議会は社会情勢を鑑みて、短い期間で開催することも必要である。 <p>【退職金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長の退職金が一期ごとに2088万円。年換算で500万円であり、年収は1900万円程度となる。 <p>【方針全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き上げるのであれば、議員報酬も市長、副市長及び教育長の給料も一律に引き上げる方がいいのでは。 ・仮に議員報酬のみを据え置きとした場合、なぜ市長など三役だけ引き上げるのかとの意見が出る。そのため、議員報酬を据え置くのであれば、三役も据え置くとするのが現時点では相応しい。 ・三役を引き上げるのであれば、議員報酬も引き上げることが必要では。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に問う中で、議員報酬を上げるべきという意見は一人もない。 ・議員定数を削減すると市民の声が聞こえないとの意見があるが、そのために区長や民生委員もおり、市民の声は十分届いているのでは。民生委員はボランティアで報酬はなし。市民のために一生懸命頑張っていることを想うと引き上げるべきではない。 ・市民の年金は、上がることなく毎年引き下げられている。物価上昇により生活は苦しくなる一方である。そのような市民感情が多い中で引き上げることはどうなのか。